

1	審議会名	上田市消防委員会
2	日時	平成26年 3月18日 午後 2時00分から午後3時30分まで
3	会場	上田東北消防署 2階会議室
4	出席者	宮島会長、田中副会長、青木委員、大谷委員、児玉委員、小山俊委員、 小山淳委員、滝澤委員、滝沢委員、南波委員、三井委員、矢島委員
5	市側出席者	中島消防部長、小林中央消防課長、谷仲危機管理防災課長、長谷川消防予防課長、 松井消防警防課長、後藤南部消防課長、小林東北消防課長、北澤川西消防課長、 深井丸子消防署長、佐藤真田消防課長、竹内危機管理防災担当係長、 丸山消防総務担当係長、越消防総務担当係長
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成26年 3月19日

協議事項等

- 1 開 会 (越消防総務担当係長)
- 2 あいさつ (中島消防部長)
冒頭に職員の不祥事についてお詫びを申し上げるとともに、日ごろの御理解と御協力への感謝、会議の内容を含めたあいさつ
- 3 報告 (進行：宮島会長)
 - (1) 消防団員の団員定数等に関する答申書の対応について (越消防総務担当係長)
消防団員数の現状、平成25年度の施設及び車両等整備事業実績及び平成26年度の同事業予定等の説明
 - (2) 消防本部庁舎耐震化・増改築事業等全体計画について (丸山消防総務担当係長)
消防救急無線デジタル化整備事業、高機能消防指令装置更新事業を含め説明
 - (3) 自主防災組織における訓練実施状況について (谷仲危機管理防災課長)
訓練実施状況の説明及び平成26年度上田市防災訓練の予定(8月30日)の説明
「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の概要を説明
 - ・ 大雪による除雪活動はどのように取り組んだのかという質問に対し、災害対策本部を設置し、市防災支援協会の協力を得て、昼夜を問わず除雪にあたった。まずは緊急道路を確保するため幹線道路の除雪を優先したが、百年振りの大雪であったことから早期に各地域の生活道路まで対応することは困難であった。今後は、この教訓を活かし、各自主防災組織の機能をフル活用していただき自助・共助による除雪体制の強化に結び付けていきたいとの回答
 - ・ 雪捨て場は決まっているのかとの質問に対し、小牧橋下、川と道の駅、丸子体育館等が決まっているが、市民への情報提供が十分ではなかった。雪捨て場の周知については、市ホームページやメール配信サービス等を活用し、速やかに情報提供を行いたいとの回答
 - ・ (消防団に対し)除雪の方法はどのようにしているのかとの質問に対し、地下式消火栓の位置を示した地図により除雪をしている、地上式消火栓が埋まるのが近年なかったため、団員に対しては除雪をできるところはやるように指示を出したと回答 (和田団長)
 - ・ 自主防災組織自体はできているが、実質の機能がされていないとの意見に対し、地域ごとの温度差があるのは認識している、各自治会で組織の長は自治会長が担当しており任期で替わってしまう、また充て職で担当が決められておりそれをいかに変えていくかが課題である、消防団OBの協力を得る、モデル組織を作って学んでもらうことを考えていきたいとの回答
(3点目を除き、谷仲危機管理防災課長の回答)

- ・ 防災士の協力を得ることについては、公的な資格ではないので慎重な検討が必要、防災アドバイザーには永年消防活動に従事してもらった人に資格を与えるなどの検討が必要、消防団と自主防災組織の連携ができるよう検討が必要との意見(委員)
- ・ 雪害対策のほか、水害対応についても、消防団として応援をしていくが、手が回らない場合はそれぞれの自治会でも力を出していただくよう協力依頼(和田団長)

(4) 平成24年の火災状況及び救急・救助状況について

ア 平成24年の火災状況について(長谷川消防予防課長)

平成24年中の火災件数、概要の説明

- ・ たばこの投げ捨て禁止、消火器の交換方法などの広報をしてもらいたいとの意見に対し、火災の発生原因にたばこの投げ捨ても考えられることから注意喚起をしていきたい。消火器も薬剤交換が不要なものもあることから、広報に取り入れていきたいとの回答

(長谷川消防予防課長)

イ 平成24年の救急・救助状況について(松井消防警防課長)

平成24年中の救急出場件数、救助出動件数及び概要の説明

4 その他

なし

5 閉会(越消防総務担当係長)